

D P Cにおける高額な新規の医薬品等への対応について

1. 新規に薬価収載された医薬品等については、D P Cにおける診療報酬点数表に反映されないことから、以下の基準に該当する医薬品等を使用した患者については、包括評価の対象外とし、出来高算定することとしている。

前年度に使用実績のない医薬品等については、当該医薬品等の標準的な使用における薬剤費（併用する医薬品も含む）の見込み額が、使用していない症例の薬剤費の平均+1SD を超えること。

2. 効能追加の薬事承認がなされた医薬品のうち、ジェムザール注射用200mg、同1g（ゲムシタビン塩酸塩）について、新規に追加された効能である「手術不能又は再発乳癌」に対して使用した場合は、この基準に該当するため、当該効能に対して本剤を使用した患者については、出来高算定することとする。

<参考>

ジェムザール注射用200mg、同1g（ゲムシタビン塩酸塩）

- ・追加となった効能・効果：

手術不能又は再発乳癌

- ・用法・用量：

通常、成人にはゲムシタビンとして1回1250mg/m²を30分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

なお、当該治療では、タキソール（パクリタキセル）を併用して投与するのが一般的である。

- ・薬価：

200mg 1 瓶 5,450円

1 g 1 瓶 25,421円

（タキソールの薬価）

30mg 1 瓶 13,283円

100mg 1 瓶 39,089円

- ・標準的な費用：

218,951円

(費用の内訳)

ジェムザール

1回の投与にかかる費用

$$1250\text{mg}/\text{m}^2 \times 1.5 \text{ m}^2 = 1875 \text{ mg} \rightarrow 25,421\text{円} \times 2 \text{本} = 50,842\text{円}$$

1入院期間中には2回の投与が行われると考えられるので、

$$50,842\text{円} \times 2 = \underline{101,684\text{円}}$$

タキソール (パクリタキセル)

175mg/ m²を3週間毎に1回投与するので

$$175\text{mg}/ \text{m}^2 \times 1.5 \text{ m}^2 = 262.5 \text{ mg} \rightarrow 39,089\text{円} \times 3 \text{本} = \underline{117,267\text{円}}$$

$$\underline{101,684\text{円}} + \underline{117,267\text{円}} = \underline{218,951\text{円}}$$

※ 該当診断群分類の平均在院日数は、13.9日

※ 標準的体表面積を1.5m²として算出

- ・ 当該医薬品を使用するDPCでの診断群分類：
MDC09 乳房の疾患 (090010xx99x30x、090010xx99x31x、090010xx9703xx)
- ・ 当該医薬品を使用していない症例の薬剤費 (平均+1SD)：
21,046点